

①大学（薬・香薬以外）

②入試区分

Ⅱ期

③出題科目

現代の国語・言語文化（古文・漢文を除く）

④出題の意図

問題の一は、開高健『開高健の文学論』 「『衣食足りて文学を忘る』ふたたび!!」から出題。純文学をはじめ文学作品が読まなくなっていることについて考察した文章。設問では、四字熟語を含む基本的な熟語の読み、文学史の基礎的な知識、慣用的表現の文脈に即した意味、キーセンテンスの趣旨の説明などを問うている。作家自身が書いた文学論を読み解く問題。

問題の二は、金田一春彦『日本語』から出題。字音語について、長所・短所をふまえて論じた文章。漢字の書き取り、慣用表現、字音語の言い換え、文脈をふまえた空欄補充、キーセンテンスの趣旨説明などを問うている。日本語について論述した文章を読み解く問題となっている。

現代の国語・言語文化「古文・漢文を除く」

【設問一は著作権の関係で省略します。】

【設問二は著作権の関係で省略します。】

理 工 学 部

人間生活学部

保健福祉学部

総合政策学部

文 学 部

必須

現代の国語・言語文化（古文・漢文を除く）

Ⅱ 期

一

著作権の関係で省略します。

二

著作権の関係で省略します。